

平成 27 年度協働事業の評価及び委員会意見

協働事業名	外国人を対象とした防災意識啓発事業		評価欄 A
協働事業者	みと男女平等参画を考える会	市担当課	地域安全課
事業の概要	<p>○防災ノートの編集 防災ノートの編集作業を進め、中国語、韓国語、英語、「やさしい日本語」による防災ノートを作成した。【発行部数：6,000部】</p> <p>○防災講座の開催（平成 27 年 7 月 11 日） 作成した外国人向け防災ノートを活用し、自助・共助の重要性を伝えるとともに、日頃の備えや災害時の対処法について説明した。</p> <p>○外国人のための防災ツアーの開催（平成 27 年 11 月 29 日） 栃木県防災館において、地震、大雨等の疑似体験を通して、日本の自然災害の特徴を説明した。また、世界遺産である日光東照宮において、観光地における避難誘導等を学習した。</p> <p>○防災訓練の開催（平成 27 年 12 月 12 日） 地震から身を守る訓練、施設の防災設備（避難誘導灯、救助袋等）を活用した避難訓練、消火活動訓練、炊き出しなどの避難所体験など、災害発生直後から数日後にいたる行動について、体験型の防災訓練を実施した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、平成 27 年度で、本制度による協働事業は終了となるが、防災ノートの作成に加え、外国人市民がより実践に近い形で体験できる防災講座や防災訓練の実施、防災ツアーを開催するなど、平成 25 年度からの 3 年間で、発展的に事業を展開してきた点が高く評価できる。平成 28 年度も市の担当課との協働事業として継続することから、引き続き、地域コミュニティとの連携を重視して、事業を展開していただきたい。</p> <p>また、外国人市民が地域とのつながりを作ることができるよう、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した広報活動等についても、検討していただきたい。</p>		

協働事業名	Let' s DANCE!! ～ダンスをみんなで楽しもう!～		評価欄 A
協働事業者	W_αLPHA	市担当課	総合教育研究所
事業の概要	<p>本事業では、小中学校でダンスが必修化になったことを受けて、小中学校において、教員向けの講習会や各学校でモデル事業を行った。</p> <p>○教員向け講習会（平成 27 年 8 月 3 日）</p> <p>市立小中学校体育指導教諭 80 名に対して、ダンスの実技研修を行った。平成 26 年度よりも内容をレベルアップして研修を行った。</p> <p>○ダンス授業支援事業（7 校）</p> <p>市立小中学校 49 校への意向調査をもとに 7 校を選出し、教員・児童に対して実践指導を交えたダンス指導を実施した。</p> <p>○ダンステキスト・DVDの作成</p> <p>基本リズム・ステップ等についてのテキスト、DVDを作成し各学校へ配布した。</p> <p>○「こみっとフェスティバル 2016」でのPR</p> <p>「こみっとフェスティバル 2016」（平成 28 年 2 月 20 日 イオンモール水戸内原）において、活動内容の紹介及びデモンストレーション演技を実施した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、平成 27 年度で、本制度による協働事業は終了となるが、教員の指導力はすぐに身に付くものではなく、また、本事業に対する現場のニーズも高いことから、継続して事業を行っていただきたい。</p> <p>また、作成した教材については、教育部門以外での活用も期待できることから、市立小・中学校に配布するだけでなく、保護者や地域の人々等、より多くの市民に周知していただきたい。</p> <p>本事業をきっかけとして、このような取組がより広がっていくことを期待する。</p>		

協働事業名	木戸房池ビオトープ整備事業		評価欄 A
協働事業者	特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき	市担当課	環境課
事業の概要	<p>本事業は、木戸房池を地域の多世代の手によりビオトープ化し、自然の生態系豊かな里山を維持し、環境教育の場や、周囲の人々の憩いの場として将来の世代に引き継ぐことを目的としている。</p> <p>平成 27 年度は、球根の植栽作業、倒木のチップ化、木道づくりなどを専門業者や協力団体、一般市民とともにを行った。また、環境学習会や野鳥自然観察会を開催した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、3年間、協働事業として実施していく中で、地域住民等への波及効果が見られ、様々な団体と連携・協力し、除草作業などの地道な活動に取り組んできた点が高く評価できる。平成 27 年度で本制度による協働事業は終了となるが、環境保全は一時的な取組でなく、継続して取り組んでいくことが重要であるから、引き続き、整備作業を行っていただきたい。また、環境学習会についても、子どもたちの環境教育や、一般市民の自然に対する意識の高揚につながるよう、さまざまなテーマで開催していただきたい。</p> <p>今後は、この事業が市内の緑地環境を保全・整備するモデル事業として、他の地区にも広がるよう、Web サイトなどを利用した広報活動を検討していただきたい。</p>		

協働事業名	渡里湧水群の保全と活用		評価欄 A
協働事業者	渡里湧水群を活かす会	市担当課	環境課 公園緑地課 他
事業の概要	<p>本事業は、長者山風致地区北側崖下の湧水箇所、旧水路、あぜ道（認定外道路）、旧国道敷及び田野川の環境を整備し、台地上の歴史的遺産（台渡里官衙遺跡群等）と一体化して、歴史と自然が融合した地域をつくることを目的としている。</p> <p>平成 27 年度は、毎月第 2 日曜日を「湧水の日」とし、会員、地域住民が協力し、ゴミ収集、除草作業等を行った。また、平成 28 年 2 月 14 日には、渡里地区の歴史等に関する講演会を開催した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、地域住民、協働事業者、複数の市担当課が関わり、組織的な役割分担のもとで事業を進めていく体制が構築されており、また、事業に取り組んでいく中で、定例の活動日に加え、班編成での活動を始めるなど、活動の幅を広げており、高く評価できる。</p> <p>現地が、多くの人々の憩いの場となるよう、引き続き、様々な主体と連携・協力しながら、事業を進めていただきたい。</p>		

協働事業名	「外遊び」の力を次世代に ～プレイパークを中心とした地域づくり～		評価欄 B
協働事業者	Play_Park310	市担当課	生涯学習課 公園緑地課
事業の概要	<p>本事業は、子どもの冒険遊び場づくりをサポートするとともに、地域の多世代交流を促進させ、幅広い世代の居場所をつくることを目的としている。</p> <p>平成 27 年度は、プレイワーカーの育成に向け、救命救急講習会（平成 27 年 5 月 13 日）、ワークショップ（平成 27 年 7 月 17 日）を開催した。また、双葉台公園において、平成 27 年 7 月 18 日（参加者約 70 名（子ども 60 名））及び平成 27 年 11 月 29 日（参加者約 90 名（子ども 70 名））の計 2 回プレイパークを実施した。</p>		
委員会意見	<p>平成 27 年度は双葉台公園でプレイパークを 2 回開催し、スタッフとして、大学生やシニア世代のボランティアの参加が得られるなど、本事業の目的の一つである多世代交流の促進が図られつつあるように感じた。</p> <p>一方で、収支計画と決算報告において、金額が乖離している費目が見られたので、平成 28 年度以降については、事業経費の見積を精査されたい。</p> <p>この活動が、水戸市全体に広がるよう、双葉台公園以外にも活動の場を広げ、地域や学校、子ども会等と連携し、子どもたちを中心に、多世代が関わりながら、事業を進めていただきたい。また、長期的な事業継続に向け、安全管理の知識等を持つプレイワーカーの養成にも力を入れていただきたい。</p>		

協働事業名	水戸の職人物語広報プロジェクト		評価欄 B
協働事業者	常磐大学地域政策研究会	市担当課	商工課
事業の概要	<p>本事業は、水戸の中心市街地にある魅力的な店舗のこだわりを発掘し、パンフレットを作成・配布することで、若者を水戸のまちなかに呼び起こし、中心市街地の活気を取り戻すことを目的としている。</p> <p>平成 27 年度は、平成 26 年度に作成したパンフレットの改訂を行った。 【発行部数：10,000 部】</p> <p>また、パンフレットに掲載した店舗へ赴き、各店舗のこだわりについて聞いたり、雑貨づくりを体験することができるイベント「まちあるき」を実施した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、学生ならではの視点から中心市街地にある魅力的な店舗のこだわりを発掘、情報を発信することで、中心市街地の活性化を目指すことを目的としており、水戸市の行政課題の解決につながる事業であったが、協働事業としては2年で終了することとなった。</p> <p>平成 26 年度事業を踏まえ、パンフレット、Web サイトそれぞれに内容の改善が見られただけに、平成 27 年度をもって事業が終了することは、大変残念である。</p> <p>本事業で作成したパンフレットやWeb サイトについては、学生ならではの視点から収集した情報が掲載されており、今後、これらの取組が、中心市街地活性化の一助となることを期待したい。</p>		

協働事業名	外国人が買い物しやすい商店街づくり		評価欄 B
協働事業者	グローバルフェスタいばらき実行委員会	市担当課	商工課
事業の概要	<p>本事業は、外国人が買い物しやすい商店街づくりを進め、外国人と共生できるまちづくりにより、中心市街地の活性化を実現することを目的としている。</p> <p>平成27年度は、グローバルフェスタいばらき2015in水戸（平成27年5月10日）を開催した。また、商業祭商店会感謝フェスティバル（平成27年10月4日）や水戸まちなかフェスティバル（平成27年10月25日）へ出展し、フェアトレード商品の販売や、国際交流・体験の場を提供した。</p> <p>「外国人が買い物しやすい商店街」に関するアンケートを実施、アンケート結果を水戸市商店会連合会と共有し、商店会の一部店舗へフェアトレード商品設置することとなった。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、外国人と共生できるまちづくりを進め、中心市街地の活性化の実現などを目指すものであるが、外国人が買い物しやすい環境をつくるのが目的なのか、フェアトレード商品の普及を促進させるのが目的なのか、事業の目的が曖昧になっている印象を受ける。この事業を行うことでどのような効果が生まれてくるのかを再度検証し、今後の事業運営にあたっていただきたい。</p> <p>また、アンケートについても、国籍別に回答をまとめるなど、きめ細やかな回答の整理が必要である。</p> <p>中心市街地の活性化に向け、引き続き、商店会や市担当課等と連携しながら、事業のさらなる充実に努めていただきたい。</p>		

協働事業名	幸せノート塾		評価欄 B
協働事業者	株式会社 IFP	市担当課	高齢福祉課
事業の概要	<p>本事業は、シニア世代がセカンドライフを計画するために必要な知識について学びながら、これまでの生き方を振り返り、これからの人生をよりよく生きるためのライフプランについて考えることを目的としている。</p> <p>平成 27 年度は、オリジナルで作成した「幸せノート」を活用しながら、セカンドライフを計画するために必要な知識について学ぶ全 3 回の講座を 2 期にわたって開講した。</p> <p>○第 1 期：会場 水戸市福祉ボランティア会館中研修室（参加者計 79 名） ・平成 27 年 8 月 24 日， 8 月 31 日， 9 月 9 日</p> <p>○第 2 期：会場 茨城県水戸生涯学習センター中講座室（参加者計 52 名） ・平成 27 年 11 月 12 日， 11 月 19 日， 11 月 25 日</p>		
委員会意見	<p>平成 27 年度は， 2 期にわたって全 3 回の連続講座を開講したが， 講座受講者からの意見を踏まえ， 平成 28 年度は， 地域に密着した形で講座を開講するとのことであった。より多くの市民が気軽に講座を受講できるよう， 引き続き， 市担当課と連携しながら， 事業の回数・規模・範囲などについて， 多角的に検討していただきたい。</p> <p>また， 講座終了後の参加者をフォローする事業の検討など， 事業のさらなる充実に努めていただきたい。</p>		

評価過程・評価基準

【 評価過程 】

5月18日に実施された事業報告会において、協働事業の実績報告書をもとに、協働事業評価シートに沿って、事業の概要、利用者からの評価及び決算報告などについて、協働事業者と市の担当課から報告を受けた。また、協働事業者及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審議において、各委員の採点を合算し、評価した。また、今後事業を展開するにあたって、協働事業者と市の担当課とが更に協議を深めるべき事項について意見した。

【 評価基準 】

実績報告票及び協働事業評価シート並びに事業報告会をもとに、Plan（企画・計画段階）、Do（実行）、Check（評価）、Action（見直し）の4つの項目に沿って採点した。各委員の持ち点を20点とし、全委員の採点を合計した総合得点を評価の基礎とした。

また、今回の審査では、採点基準を次のように設けた。

☆ 各委員の1項目の評価（5点満点）×4項目×7人＝140点満点

			採点基準
A	評	価	105～140点
B	評	価	70～104点
C	評	価	35～69点
D	評	価	0～34点

☆ 審査項目及び審査の視点（20点満点）

審査項目	審査の視点	配点
1 P l a n (企画・計画段階)	① 事業目的を明確にし、協働する必要性について十分検討したか。 ② 協定書の内容は明確にしたか。 ③ 事業計画は双方協議して作成したか。	5
2 D o (実 行)	① 事業の進捗を共有したか。 ② お互いに役割を果たしたか。 ③ 適切に進行管理できたか。 ④ 変更事項の協議を柔軟にできたか。	5
3 C h e c k (評 価)	① 組織内部で事業を振り返ったか。 ② 受益者の評価を得られたか。 ③ 双方で事業を振り返ったか。	5
4 A c t i o n (見 直 し)	① 改善すべき点が明確になったか。 ② 改善方法は具体的か。	5

